

編集発行：滋賀県精神保健福祉協会  
 〒525- 草津市笠山八丁目4番25号  
 0072 滋賀県立精神医療センター 1 階  
 TEL/FAX 077(567)5250  
 http://www.mental-shiga.com  
 E-mail smental@ex.biwa.ne.jp

# 滋賀県精神保健福祉協会だより

## 平成十八年度滋賀県委託事業

### 精神障害者を理解するつどい

# 「まごころの健康フェスタ」

平成十八年十二月九日（土）、甲賀市碧水ホールにて「まごころの健康フェスタ」が開催されました。高岡実行委員長の後、甲賀市長代理今井氏のご祝辞の後、地域生活支援センターのゆびとまれの音楽発表や、シンガー・ソングライターのあまりあさんと精神医療センター所長・波多野和夫先生とのミニトーク、あまりあさんのコンサートが行なわれ、参加者とともに楽しい時間を過ごしました。また、NPO 法人滋賀県精神障害者家族会連合会（鳩の会）が、当事者の方の作品を集めた「楽々展」を開催されました。

最初に小川さんが、甲斐バンドの「安奈」をギターで独唱されました。会場からは「なつかしい」という声も聞かれ、皆さん青春時代の曲に耳を傾けていました。次は、このゆびとまれの皆さんで大塚愛の「フレンジジャー」の合唱。先程とは打って変わってのリズミカルな曲に参加者も自然と体が動いていました。最後は、「赤鼻のトナ



▲楽々展

### ○このゆびとまれの音楽発表

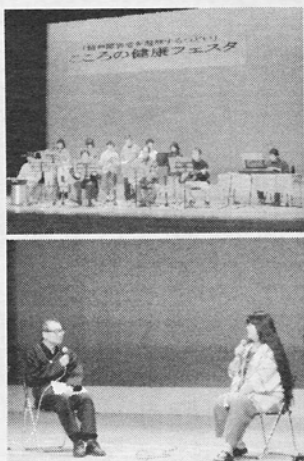
最初に小川さんが、甲斐バンドの「安奈」をギターで独唱されました。

会場からは「なつかしい」という声も聞かれ、皆さん青春時代の曲に耳を傾けていました。次は、このゆびとまれの皆さんで大塚愛の「フレンジジャー」の合唱。先程とは打って変わってのリズミカルな曲に参加者も自然と体が動いていました。最後は、「赤鼻のトナ

カイ」と「手のひらを太陽に」を楽しい演奏で聞かせてくれて、会場は和やかな雰囲気になりました。

### ○あまりあさんと波多野先生のミニトーク

音楽と脳の関係や、あまりあさんの実体験について、あまりあさんと波多野先生がそれぞれわかりやすくお話をされました。世にも珍しいミュージシャンと精神科医のコラボレーションは、意外にも(!?) 興味深いお話でした。



▶このゆびとまれの音楽発表  
 ▶あまりあさんと波多野先生のミニトーク

### ○あまりあさんのコンサート

これまで様々な音楽活動をされてきたあまりあさんが、アフリカの太鼓とシンセサイザーによるコンサートをされました。アフリカの太鼓のリズムで深みのある音とあまりあさんの透



▲あまりあさんのコンサート

き通った声が混ざり合って、会場が別次元の空気で包まれていました。また、ふわっとどこかに連れて行かれそうなシンセサイザーの音色と、あまりあさんの声とが素晴らしいマッチングで、会場はみんなマッサージュチェアに座っているようなリラックスした空間になり、日頃のストレスを癒されています。他にも、あまりあさんの太鼓のリズムにあわせて参加者が手拍子や足踏みをする時間もあり、コンサートが終わる頃には、心も体もすっかりリフレッシュされていました。

### ○まとめ

まごころの病気は誰にでも起こりうるものです。まごころの病気にならないためにも、ストレスを上手に解消できるかがとても重要になってきます。参加者の皆さんには、日頃のストレスを解消し、かつ、明日からもまごころが健康でいられる「つどい」になりました。

(滋賀県社会福祉協議会 加藤芳頭)

# 「精神保健福祉勉強会」報告

平成十八年十一月九日（木）、澄み渡るような暖かな秋晴れの中、ガラス戸いっぱい心地良い日光の差し込む地域生活支援センター オアシスの郷で、勉強会が開催されました。

## 【内容】

### ①「わかりやすい心の病気のおはなし」

（世一クリニック

世一市郎 医師）

先生ご自身の学生時代の体験や体調管理のこと、また患者さんとのエピソード等を交えながら、代表的な心の病気である統合失調症についてわかりやすくお話してくださいました。症状や治療の概略に加えて、ご家族の関わり方やご本人が地域で生活される上でアドバイスもお話してくださいました。

### ②「大津管内の精神保健福祉サービスの現状」

（大津市障害福祉課

片山克子 保健師）

障害福祉サービスの利用に関して、相談・申請手順や大津市における障害程度区分の認定状況、利用できるサービスの種類や利用者負担について、自立支援法施行後の現状を詳しくお話してくださいました。

### ③「質疑応答」

ご家族より、統合失調症の生活障害や将来に対する不安が語られ、湖南クリニックの榎林先生、世一先生、片山さんがそれぞれの立場から、不安の解消に向けて具体的にできること一つ一つ丁寧に説明されました。

### 【全体を通して】

八角形の会場に合わせて、参加者三十名が円形に向かい合って座る形態で始められました。少人数での勉強会であり、お互いの顔が見える距離ということもあって、落ち着いた和やかな雰囲気の中で行われました。先生の穏やかな話し方や人柄には多くの参加者が親近感を持たれ、一つ一つの言葉に傾きながらじっくりと聴いておられる様子が印象的でした。

調査研究部会による勉強会は、毎年開催地域を変えて行われています。今回は大津管内での企画でしたが、大津市内のご家族や当事者、関係者、大学生等の参加だけでなく、市外からの積極的な参加も目立ちました。精神保健に関する情報を求める多くの方のニーズが伝わり、日常の体験や考えを話し合い、地域の情報を共有できるこのような機会が身近にあることの大切さを

改めて感じました。

（地域生活支援センター

オアシスの郷職員 杉山更紗）

## 勉強会の参加者アンケートから（抜粋）

- 大変参考になりました。
- 分からなかったことが分かり、楽になりました。
- うつ病の子どもがいるのでお話を聴きにきました。
- ご家族の不安を直接聴くことができ、学びが深まったように思います。（学生）
- 当事者・家族・福祉のネットワークを広げることの重要性を知りました。
- 医師との信頼関係が大切だと思いました。（家族）
- 勉強になりました。来てよかったです。



## 平成18年度全国精神保健福祉連絡協議会総会 並びに精神保健福祉全国大会に参加して

平成18年10月23日-24日

「当事者自身の活動に支援を」—自身の自信につながる大会として—

今まで、私が東京方面に行くのに自家用車を利用することがほとんどでした。そのため、今回何十年ぶりに新幹線に乗車しました。「やった、電車に乗れる」と子供じみた興奮を覚えているの研修の旅でした。東京駅構内は人の渦。知らない人はかりの中で飲み込まれそうな自分を覚えながら千葉方面へ乗り継ぎました。千葉その日は嵐でした。近くで船が二隻座礁したニュースが飛び込んでいました。

二十三日は千葉市内のホテルで、全国精神保健福祉連絡協議会の総会が開催されました。総会での主な議題は、事務局移転に伴う事務局設置場所の規約改正。総会の後の懇話会は、千葉県教育振興財団の米田耕司氏（美術館長）の日本文化の東西の差異について日本人の文化を支える興味深い精神構造

についてお話が聞けました。  
二十四日は会場を幕張メッセに移して、精神保健福祉全国大会が開催されました。当日も雨風が吹き荒れる中、千葉県内及び全国から約千人以上の参加者で賑わい、会場は熱気に包まれておりました。午前中は記念式典。厚生労働省はじめ、千葉県知事や各団体、関係者の出席のもと、表彰式がとり行われました。



## 滋賀県の断酒会が受賞

多くの受賞者の中で、滋賀県からは滋賀県断酒会友会が厚生労働大臣表彰(団体)を受賞されました。また、社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰としては、個人の部で滋賀県断酒会友会会長 仲村隆夫氏が受賞されました。午後は利用者、当事者によるハンドベルやよさこい踊りのパワーあふれる発表会。また、会場には千葉県内の病

院関係、福祉施設および作業所関係の授産品の販売コーナーもあり、多くの方々が製品を買い求めておられました。私が特に印象に残っている第一点は、官民協働の「長期入院解消に向けた研究会」を設置して具体的な検討をしているという体制づくりを行っており、入院中心の医療から地域ケア体制の構築を積極的に推し進められているところでした。

第二点目は、自助活動グループの方々の報告「できることから始めよう」というテーマでのシンポジウムでした。自立支援法が成立して以後、法案そのものに対するさまざまな意見が出され、その取り組みに対しては不安や疑問が数多く出されており、各県でも独自の対応策が講じられて来るようになってまいりました。しかし、私たちが忘れてはならないこと、それは当事者および利用者の方々にとって、「その法律だけ」が日常生活全般に影響を与えているのではないということだと思いません。【生活のしやすさ】の視点で支援することの大切さとともに、当事者の方々の【自立】とは、という視点を常に私たちの心の中心軸としておくこと、そして何時も私たちの【支援】なるものを率直に検討する姿勢だと思えます。自助グループの方々の発言を聞かせていただいて、今までの私なりのある種の【支援】に対しての疑問が払拭されたような気持ちになりました。私にとってまだまだ未知な部分があります。私たちが、久々によい研修をさせていただき

ました。ありがとうございました。来年は富山で開催されます。

(滋賀県精神障害者作業所連絡会)

副会長 斉藤祥心

## 厚生労働大臣賞受賞

十月二十四日、千葉幕張メッセで開催された「日本精神保健福祉連盟 全国大会」において滋賀県断酒会友会が厚生労働大臣賞を受賞しました。

この受賞はひとえに酒害からの回復を目指す会員家族の日ごろの努力が認められたものと感謝いたします。振り返れば昭和五十二年酒害に苦しんだ七人の仲間が、断酒会を結成したのです。それから二十九年の間に会員数約百六十名、県内十五支部で例会が開催されるようになりました。そして県内ではまだ断酒会を知らずアルコールで苦しんでおられる人には「アルコール市民セミナー」を精神保健福祉センターと共催で年一回開催し、一人でも酒害から脱出してもらえたら、との思いで活動しています。これからも受賞を励みに関係機関と今まで以上に連携を密にし、活動していききたいと思えます。また会の代表者である仲村が連盟会長賞を受賞しました。これは平成二十年の全日本断酒連盟主催の全国大会滋賀(長浜)大会をやり遂げてくださったという励ましと受け止めこれからも会員家族と共に準備しながら進めていきたいと思えます。

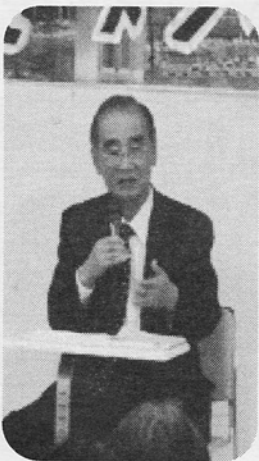
(滋賀県断酒会友会 会長 仲村 隆夫)

笑ってメンタルヘルス滋賀

## 「第五回総会と特別講演会」の報告

平成十八年十月二十二日(日)に第五回総会と特別講演会を開催し、約三十名の参加がありました。第一部のパフォーマンスは進化を続ける「メンズサタデーズ」が爆笑漫才を披露。続いて「ムーミンと一緒」による楽しい歌と体操。さらに円熟味を増しメジャーデビューも間近い「ダブルエックス」の漫才。そして「ベトベン」による五周年記念のほころびの歌など、充実した楽しい時間を皆で共有しました。第二部では、われらが日本笑い学会会長の井上宏先生による「笑いの力」笑いの不思議」という演題での特別講演を頂きました。「笑う」ことの大切さ、「笑い」の持つ意味などについてユーモアたっぷりにお話下さいました。第一部のパフォーマンスに対しては「今まさにこのような生活に根ざした笑いが必要」と、格別の評価を頂戴しました。ポリユーム満載であつという間の三時間、皆さんと一緒に五周年を祝い楽しみました。

(笑ってメンヘル滋賀 廣部哲也)



# 伝言板

## こころの会例会

日 時…平成19年1月28日(日) 13:30~15:30  
 場 所…県立男女共同参画センター 研修室B  
 (JR近江八幡駅南口徒歩10分)  
 内 容…現在悩んでいること、薬のこと、病気のこと、等  
 問合せ…「こころの会」蒲生郡日野町木津192  
 TEL/FAX 0748-52-2918 (この会は患者会です)

## 滋精診協 児童青年期事例検討・講演会

日 時…平成19年1月20日(土) 18:00~  
 場 所…草津市立まちづくりセンター  
 (JR琵琶湖線 草津駅西口から琵琶湖方向に200m  
 TEL 077-562-9240)  
 演 題…子どもの精神科薬物療法  
 講 師…京都大学医学部精神医学講座講師 岡田俊先生  
 会 費…3000円(夕食代を含む)  
 話 題…1) 広汎性発達障害の薬物療法  
 2) 児童青年期におけるSSRIの使用  
 3) ADHDに対する中枢刺激薬と新たな薬剤の臨床導入  
 など  
 主 催…滋賀県精神神経科診療所協会  
 連絡先…南彦根クリニック  
 TEL 0749-24-7808 FAX 0749-24-7807

## 第4回近畿SST経験交流ワークショップ・滋賀

日 時…平成19年2月18日(日) 10:00~16:30  
 場 所…ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター  
 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20  
 TEL 077-527-3311  
 参加費…普及協会会員 3500円 非会員 4000円 学生 3000円  
 記念講演…「SSTの新たな展開～こどものSSTを中心に～」  
 講演 岩坂英巳先生(奈良教育大学)

## NPO滋賀県精神障害者家族会連合会・精神保健福祉センター共催

「精神障害者家族会等研修会」(参加無料)  
 日 時…平成19年2月24日(土) 13:30~16:00  
 場 所…近江八幡市勤労者福祉センター「アクティ近江八幡」  
 (JR近江八幡駅南口徒歩5分)  
 内 容…講 演 「障害者の社会参加を目指して」  
 講 師 荒田寛氏(龍谷大学社会学部教授)  
 シンポジウム テーマ:「精神障害者の社会参加をささげる」  
 ~障害者自立支援法が変わった・何が変わる~  
 申込み・問合せ…精神保健福祉センター TEL 077-567-5010

## 初笑い/落語家さんと遊ぶ Part5

日 時…平成19年1月27日(土) 15:00~17:00  
 場 所…地域生活支援センター まな  
 (JR琵琶湖線 南彦根駅西口徒歩5分 TEL 0749-21-2192)  
 第1部…落語 笑福亭生高さん  
 第2部…漫才などパフォーマンス  
 大喜利、落語教室、生高さんと遊ぶ  
 入場料…300円  
 夢工房ifによる喫茶あります  
 主 催…日本笑い学会・笑ってメンタルヘルス滋賀支部  
 連絡先…南彦根クリニック  
 TEL 0749-24-7808 FAX 0749-24-7807

## 編集後記

- ◆ 去年と違って今年は雪不足が深刻です。12月20日現在、彦根では初雪はまだです。滋賀県内の8スキー場で人工雪の一方を除いて営業できていないようです。一方、暖冬のせいかわかりませんがノロウイルスが大流行して、各病院や施設ではウイルス対策が大変です。
- ◆ 滋賀県では、障害者自立支援法には「利用者負担や報酬基準などに多くの課題がある」として、独自の「緊急特別対策事業」を立ち上げ、9月補正予算に約1億6千万円を計上しました。平成21年3月までの期間限定のプログラムですが、施設利用者の定率負担の軽減、小規模グループホームへの運営支援、日額化で激減する社会復帰施設の報酬補填、就労支援へのきめ細かい取り組みなど、地方から国の施策を変えていくという先進的なものでした。
- ◆ 障害者自立支援法への批判の高まりの中で、自民党・公明党は12月1日になって、平成21年3月までの3年間、1200億円の予算措置を政府に求めることで合意。これを受けて、12月6日には柳澤厚労相が今年度補正予算対応などを約束し、滋賀県などが先進的に打ち出してきた施策を迫認する形となりました。歓迎すべき方針変更ではありますが、今後も参議院選挙を前にしてより一層の迷走を続けるものと思われます。
- ◆ 11月30日に出された自民党修正案では「障害程度区分については、知的障害、精神障害を中心に、身体障害も含め、各々の障害特性を反映した区分が出るよう、コンピューター判定のあり方を含む抜本的な見直しを行う。」とあります。3障害共通の指標と言いつつ現在の障害程度区分の判定では、精神障害の判定は困難なのは誰の目にも明らかです。いよいよ区分判定の見直し、ひいては介護保険への統合路線の見直しまで議論が進むのか、重要な時期に来ているように思います。

(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)

## 会員数

平成18年12月20日現在

一般会員	個人会員	228名
	団体会員	38団体
賛助会員	個人会員	10名
	団体会員	10団体